



報道機関各位

(内閣府モデル事業)

避難生活支援支援リーダー/サポーター研修の参加者募集について

災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材を育成します

災害の激甚化により、災害時の避難生活が長期化し、避難所における様々なストレスによって災害関連死が発生することが懸念されています。実際の避難所の運営は避難者だけでなく、地域の様々な立場の方の協力が不可欠です。

本研修を通して、自分が被災者となった時の心構えだけでなく、被災者とのコミュニケーションや具体的な環境向上のためのスキルを体系的に学ぶことで、地域が一体となって災害に強い町づくりを目指すため、研修の参加者を募集します。

日 時

令和6年2月3日(土)、4日(日) 午前10時から午後4時まで

場 所

松島コミュニティセンター

内 容

- ・内閣府派遣講師による、避難所運営演習  
2日間の演習を通じて、避難生活の環境向上のためのスキルや被災者とのコミュニケーションの基礎などを学びます。
- ・eラーニングによる事前学習(20分程度×8コマ)  
避難生活における基礎知識、支援者としての心構え、避難所運営の知識とスキル等

その他

- ・定員(50名)を超えた場合、受付は終了しますが、当日の見学は自由です。
- ・2日間の演習すべてにご参加いただきます。
- ・申込み方法等、詳細はチラシをご覧ください。

添付資料  有  無



じゃらんnet

「全国のおすすめ紅葉スポットランキング2022」でもみじ湖が3年連続全国1位に選ばれました!!

総務課 防災・セーフコミュニティ推進係

(課長) 毛利岳夫 (担当) 小野智弘

電 話 : 0265-79-3111 (内線) 1134

F A X : 0265-79-0230

E - mail : soumu@town.minowa.lg.jp

# 避難生活支援 リーダー／サポーター研修

「災害関連死・ゼロ」を目指して

災害時の避難生活の環境向上に貢献できる  
地域の人材を育成します

参加  
無料

定員あり

※定員に達し次第  
受付終了

近年、災害の多発や避難の長期化に伴う災害関連死の増加が  
ますます懸念されています。

そのため、避難生活の環境向上に関わる

地域の様々な立場の方の協力が不可欠です。

そこで、被災者とのコミュニケーションや具体的な環境向上のための  
スキルを体系的に学ぶことができる研修を実施します。

この研修では、

## ①事前学習：オンデマンド講座(動画視聴)

の受講と、

## ②避難所運営演習(2日間)

にご参加いただきます。

詳細は裏面へ！

### 1 事前学習：オンデマンド講座

eラーニングシステムで、8コマ、1コマ20分程度の動画を、②避難所運営演習の開催前までに視聴していただきます。  
支援者としての基礎知識や役立つスキルについて、研修テキスト(※)の中から特に重要な点を深めます。

※研修テキスト、eラーニングシステムの動画URL、パスワードは、申込受付後準備が整い次第お送りいたします。

※eラーニングシステムでの動画視聴が難しい方は、お申し込み時にお知らせください。

### 2 避難所運営演習

2日間の演習を通じて、避難生活の環境向上のためのスキルや  
被災者とのコミュニケーションの基礎などを学びます。

1日目 令和6年2月3日(土) 10:00～16:00

2日目 令和6年2月4日(日) 10:00～16:00

会場

松島コミュニティセンター

〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字松島8440番地  
※駐車場あり

持ち物

筆記用具、研修テキスト、昼食  
バインダー(お持ちの方のみ)

# 研修概要

## 1 事前学習：オンデマンド講座の受講

支援者としての基礎知識や役立つスキルについて、研修テキスト(※)の中から特に重要な点を深めます。

### オンデマンド講座の概要

避難生活支援リーダー/サポーター育成の必要性、ボランティア・支援者としての心構え・姿勢、災害「支援」の基礎知識、多様な被災者への配慮・ニーズ対応、避難所運営の知識とスキルなど

※研修テキスト、eラーニングシステムの動画URL、パスワードは、申込受付後準備が整い次第お送りいたします。  
※eラーニングシステムでの動画視聴が難しい方は、お申し込み時にお知らせください。

## 2 避難所運営演習の参加

2日間の演習を通じて、避難生活の環境向上のためのスキルや被災者とのコミュニケーションの基礎などを学びます。

### 避難所運営演習の概要

- ・1日目 多様な被災者の心情や状況の理解  
避難生活の課題と生活環境の整備
- ・2日目 被災者とのコミュニケーション  
避難所運営の担い手との連携・協働



### 講師



#### 浦野 愛 (うらの あい)

認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード / 常務理事

阪神・淡路大震災では、大学生のボランティアネットワークに所属し、被災者支援にあたる。卒業後、特別養護老人ホームデイサービスセンターで介護職として勤務し、レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとなる。2004年より事務局長、2009年より常務理事を務める。避難所運営支援や災害時要配慮者への支援事業を中心に、災害ボランティア等、各種講演会・講座講師、支援プログラムの企画・運営を行っている。社会福祉士。



#### 山中 弓子 (やまなか ゆみこ)

親子支援・災害看護支援 てとめっと / 看護師

阪神淡路大震災以降、東日本大震災、熊本大分地震、九州北部豪雨災害、西日本豪雨災害など各地の災害看護支援に従事。看護の目と看護の手を届ける人のネットワーク構築を目指し活動が続ける。看護師の資格を活かし、地震災害による災害看護支援や仮設自治会支援、ぬいぐるみプロジェクト、トラウマを持つ子どものためのタッチケアなど、支援が必要となるところへ、必要な支援をタイムリーに確実に届けることを心がけ活動を行う。また、減災活動として、看護学生等への災害看護講演、メディアへの被災地支援などの現状及び課題報告の取り組み、防災ホイッスルライト啓蒙活動などの取り組みも行っている。



#### 頼政 良太 (よりまさ りょうた)

被災地 NGO 協働センター代表 / 関西学院大学人間福祉学部助教

大学入学と同時に、学生ボランティアサークル「神戸大学学生震災救援隊」に参加。能登半島地震被災地での足湯ボランティアを皮切りに、夜回りによるホームレス支援やフリースクールサポートといった様々な活動や、数々の国内の災害救援活動に従事。被災地 NGO 協働センターのアルバイトスタッフから正社員を経て、平成27年5月、同 NGO 代表に就任。現在は助教として、関西学院大学人間福祉学部で、災害時のボランティア活動や災害復興について研究している。

## 申込・窓口

右の申込みフォーム (QR コード) からお申込みいただくか、下記までご連絡ください。  
※定員 (50 名) に達した時点で締め切らせていただきます。

箕輪町役場 総務課 防災・セーフコミュニティ推進係  
電話 0265-79-3144 (内線1133) ファックス 0265-79-0230

お申込みはこちら



## 研修内容に 関する問合せ

内閣府業務受託事業者 避難生活支援リーダー/サポーター研修会事務局  
株式会社ダイナックス都市環境研究所 (担当: 津賀・細川・大宮)

TEL 03-5402-5355

MAIL leader-supporter@dynax-eco.com